

平和・人権  
社会・宗教  
政治と暮らし  
分かれ合ひ

No.53

# 共に生きる

編集／〒806-0049 北九州市八幡西区穴生1-8-10／瀬下幸弘 FAX093-622-1290

沖縄東村高江で  
ヘリパッドの監視テント  
や椅子、テーブル、横断  
幕等々が盗まれました。

2月20日朝判明  
盗難物は米軍基地内に隠され、  
警察も手を出せずに、泣くのは  
県民のみです。

盗難前



盗難後



日本カトリック司教団が2月25日  
戦後70年司教団メッセージ  
「平和を実現する人は幸い  
今こそ武力によらない平和を」  
を発表。

歴史認識について、集団的自衛権行使、沖縄の基地問題についてなど、今日の問題に具体的に言及し、日本のカトリック教会の平和に関わる基本姿勢を明瞭に示しています。

## 3月のお知らせ

- ◆3月7日(土)下関アムネスティ(下関市民活動センター)…14時
- ◆3月8日(日)さよなら原発3・8北九州集会  
小倉北区三萩野公園 …12時から
- ◆3月10日(火)社会福音部会(アドラー)…13時30分
- ◆3月11日(水)原発ゼロをめざす署名行動(JR黒崎駅前)…13時
- ◆3月28日(土)キリスト者9条守りたい(西南KCC)…14時
- ◆4月4日(土)下関アムネスティ(下関市民活動センター)…14時
- ◆4月5日(日)障がい者と歩こう会(ビンゴ景品募集)  
八幡西区畠貯水池白木橋駐車場…11時スタート

やよい  
弥 生  
3  
2015

## 「植民地支配と侵略」こそ核心

## 戦後70年の歩みと今後

安倍首相の「戦後70年談話」に向けた有識者会議がスタート

今年夏に「戦後70年新談話」が出されます。そのため有識者の意見を参考にして談話を出す方針ですが、ここでわたしたちがもう一度思い起さねばならないものがあります。それは、1995年8月15日、日本国政府の公式見解として出された村山談話です。この談話の中で「植民地支配と侵略」で「諸国民に多大の損害と苦痛を与えた」「痛切な反省」と「心からのお詫び」を表明したのです。以後の首相たちもこの村山談話を踏襲してきました。第1次安倍内閣でも河野談話(日本軍「慰安婦」問題)を含め「私の内閣で変更するものではない」と述べています。ところが2013年、第2次安倍内閣になって「安倍内閣として村山談話をそのまま継承している訳ではない」と発言しました。その後すぐにその発言を「修正」しましたが、ここに安倍首相の本音が見え隠れしています。稻田朋美自民党政調会長は、2月25日のBS番組で「日本軍『慰安婦』問題で『強制性』はなかった」と発言したことが報じられています。「戦後70年談話」のために有識者会議をスタートさせたと同時のこの稻田氏の発言は「慰安婦問題」を含めて、日本の植民地支配と侵略の事実をねじ曲げる行為です。これでは安倍首相が有識者にお願いした「戦後70年、アメリカや中国、韓国の国々とのような和解の道を歩んできたのか」の視点と真逆であり、「同盟国アメリカ」との関係も崩れてしまうでしょう。「植民地支配と侵略」を戦後70年談話に盛り込むことが、これからも平和国家として歩む道となります。

世界人権宣言(谷川俊太郎訳)

### 第2条 差別はいやだ

わたしたちはみな、意見の違いや、生まれ、男、女、宗教、人種、ことば、皮膚の色の違いによって差別されるべきではありません。

また、どんな国に生きていようと、その権利にかわりはありません。

### 3月11日：イチイチ祈りの会

場所は黒崎教会小聖堂、午後7時  
どなたでもお出でください。



# 沖縄をもっと知ろう

# Voice of TAKAE

No.4

ひがしそんたかえ

2014年1月31日改定版より

## 沖縄県東村高江で起きていること

### 高江でオスプレイ訓練

2012年、大型輸送ヘリCH46に替わって新機種MV22オスプレイが配備されることになりました。今でも激しい爆音に悩まされ、低空飛行で県道脇の木々が引きちぎられ、道路に飛び散ることもあります。夜中の無灯火訓練もしています。現状でも危険な状況なのです。

オスプレイはプロペラの角度を変えて垂直に離着陸もできる航空機です。プロペラが左右2つあり、左右前後でバランスを取る必要があり、従来のヘリより操縦が難しく、事故が多く発しています。エンジントラブルが発生すると、安全装置であるオートローション機能がなく、そのまま墜落します。固定翼モードのまま着陸すると、プロペラが地面に激突し、機体が傷つかないようにプロペラがズタズタに裂けて散乱するように設計されています。

高江に今あるヘリパッドもやんばるの森の



オス  
ペ  
イ  
ア  
より  
キ  
デ  
イ  
ラ

中にあるため、生態系へのダメージは測り知れません。ヘリパッドのすぐ横の県道を通る人や車両、近隣の民家、やんばるの森はどうなるのでしょうか。アメリカでもオスプレイは危険であると製造を中止する動きがありますが、製造には全米中2000社にのぼる軍需産業の利害がかかわり、経済と雇用のために計画が続行されています。

2012年、沖縄県議会と県内すべての市町村議会が「オスプレイ反対」を決議しました。それでも国は「安全だ」と配備を進めています。



## 日本軍「慰安婦問題」とは何か

山下明子さんがその問題点を語る(16)

2013年11月9日 下関講演

※編集の都合上、講演内容  
の要点を掲載しています。  
文責／編集部

### 前号のポイント

世界人権宣言が出されたが、“世界”とはユニバーサル、普遍的人権宣言のことで、世界中の人々にあてはまる普遍的な権利の宣言。国籍・民族・年齢・障害有無にかかわらず。

ですからこの中に初めて「女性」と「外国人」が含まれているのです。日本はこれの作成議論には一切加わっていません。その当時はまだ国際社会に復帰していましたので。作成にはそれまで1,000回以上の投票があってから世界人権宣言が決まったのです。この議論にはキリスト教諸国、アジア諸国、中国なども加わっていたのです。もし(その前に)朝鮮戦争が始まっていたら、この世界人権宣言はできなかっただと言われています。それほどのものなのです。この中で、ジェンダーに関わるような用語をインドのメイタさんという女性が全部書いたのです。この文の中で、ジェンダーに関わる用語が見られるのは、ブ

ザー、兄弟愛・人類愛なのです。このブランザーは変えませんでした。この中のヒューマンライツという言葉が入っているのはすごく大事なことなんです。その後、女性差別撤廃条約とか子どもの権利宣言など具体的な条約が出てきます。ただ、世界人権宣言65周年を行うときに、必ず「女性が主体」「外国人が主体」ということが入っているかどうか吟味しないといけないのです。そのようにしないと戦争のない社会を作ることはできないのです、というのが世界人権宣言を作るときの一貫した内容なんです。すべてのひとに当てはまるという意味ですから、今まで除外されていた外国人、寄留の外国人ですね。あるいは女性。日本は戦前、(女性は)戸主の下にいる者でしたから市民権、投票権が無かったのですけれど。

しかし今、片方で軍事化を進めながら、片方で世界人権宣言65周年をしても意味がないということです。そういうことが世界中で起こっています。65周年を祝っても、戦争のない社会を作るための努力がされているかどうかです。(次号へ)

# ある少国民の戦中・戦後

① 秋吉正子

連続6回

## (一) 国民学校一年生

昭和六年の満州事変にはじまって、日本は中国へ戦線を拡大し、昭和十一年の日中戦争を経て昭和十六年には太平洋戦争に突入しました。それから昭和二十年の敗戦までの、いわゆる十五年戦争の最中の昭和十年一月に、わたしは生まれました。

当時わたしの家族は、父の赴任先のサイパン島に住んでいました。農家の次男だった父は小学校の教師になり、しばらく郷里の学校で教鞭をとつていきましたが、当時の国策で南洋群島の小学校の教師になつたのでした。常夏の気候風土も父には合っていたようで、父なりに若い情熱を傾けての仕事に満足していました。サイパンの前には、パラオ、ボナベ、ロタ島等にも居たそうです。



ドイツの「フォルクス・シューレ」をまねて「国民学校」とあらためた。

た。それまでの「小学校」が、国の重要な方針のもとに「国民学校」に改められたのです。同じ年の十二月八日に太平洋戦争が始まったことと、無関係ではなかつたと言えるでしょう。

当時出された国民学校令第一条には、「国民学校ハ、皇國ノ道ニ則リテ初等普通教育ヲ施シ、國民ノ基礎的練成ヲ為スヲ以テ目的トス」とあり、「修身科ヨイコドモ」教師用指導要領には、

1、天皇のためには火の中、水の中をも恐れず身を捧げる。

2、戦場に行かない者にも、忠義の道はあること。

3、その持場々々において、その務めに勉励すること。

4、戦場の出征兵士を励ますと共に、銃後の人として守りを固くすべきこと。

と、わかりやすい言葉で書かれています。

変わったのは「国民学校」だけではありませんでした。「小学生」は「少国民」になりました。そしてわたしたちは、一年生から六年生までの六年間「国民学校」だつた唯一の世代でもあつたのです。このことがそれからの自分にどのような運命をもたらすかなど、全く思いもしなかつた幼いわたしは、母の手製の赤いランセルを背負つて、心をはずませながら

通学したのでした。

校門を入ると、うす赤い花をいちめんにつけた抱木の樹が枝を広げていて、新入生を歓迎してくれているようでした。抱木はその姿や花が日本の桜に似ていたので、ひとびとは望郷の思いをこめて「南洋桜」と呼んでいました。

楽しいばかりの一年生には何の実感もありませんでしたが、この年の十二月八日、日本は太平洋戦争に突入しました。初めてのうちは戦勝に湧いていましたが、昭和十七年六月にミッドウェー沖海戦で敗北してからは、後退を続けていました。いちばん早く身の危険を感じたのは母でした。この南洋の島々に愛着のあつた父は、帰るつもりは全くなかつたのですが、熱心に説得する母にとうとう負けて、帰国に同意したのです。帰国する人がまだ少なかつた昭和十七年の夏に、わたしの家族は「客船サイパン丸」で日本へ向かつたのです。しかし、この頃すでにサイパンから日本への航海は安全ではなくて、海には至る所に機雷が敷設されていたのです。一週間後、サイパン丸は運よく無事に横浜港に帰り着きましたが、その後に出港した引揚船は途中で沈められてしまつたそうです。

サイパンから帰国したわたしたちは、父母の郷里の農村の近くに住むことになりました。

## アラカルト

### 「そんな政治的なものは受け入れられない！」

カトリック

教会のある会議で、そんな発言がありました。昨年9月に行われた「正義と平和全国集会福岡大会を終えて、今後この熱意をどのように推進すればよいだろうか」との提案を受けて、それぞれの思いを論じ合っていた最中のことです。沖縄基地問題・集団的自衛権・原発・従軍慰安婦…どれもまさしく政治問題です。その会議での結論は、その発言をされた方を除いた全員の賛成で前進させることになったのですが、会議後の小話が実際に面白い。「教会の殉教者たちは、国策に反し命を奪われた。迫害から逃げた人たち、隠れて自分の信仰を守り抜いた人たち、あるいは表向きだけ棄教した人たちは皆、権力に抗つた政治的行為ですね。それと、権力の横暴に対して『沈黙』『中立』『無関心』な態度は、その権力への賛成姿勢と同じですからから、これも政治行動ですよね。」

“政治的なものはちょっと…”傷つけられている人たちを横目に通り過ぎるのも政治的なのです。

# 消費税と人権・平和を考える

(3)



安永 亮 税理士事務所  
安永 亮 所長

憲法には直接、課税のあり方を明確に示す条文はありません。しかし、その内容を考える手がかり=根拠となる条文があります。

第13条、第14条、第25条、第29条です。

(第13条 すべての国民は、個人として尊重される。生命、自由及び幸福追求に対する国民の権利については、公共の福祉に反しない限り、立法その他の国政の上で、最大の尊重を必要とする)

(第14条 ①すべて国民は、法の下に平等であつて、人種、信条、性別、社会的身分又は門地により、政治的、経済的又は社会的関係において、差別されない。②③項省略)

(第25条 ①すべて国民は、健康で文化的な最低限度の生活を営む権利を有する。

②国は、すべての生活部面について、社会福祉、社会保障及び公衆衛生の向上及び増進に努めなければならない。)

(第29条 ①財産権は、これを侵してはならない。

②財産権の内容は、公共の福祉に適合するように、法律でこれを定める。③項省略)



これら4つの条文を読み合せたとき、読者の皆さんはどういう課税のあり方を提案するでしょうか？

老若男女、健康病弱、健常障害、貧富、得意苦手……現実の人間は、社会において、それぞれ能力、状況が異なります。

しかし憲法は、どのような事情があろうとも、すべての国民は誰でも、健康で文化的な最低限度の生活を営む権利を保障され、それが幸福を主体的に求めて生きていく個人として尊重されると規定しています。そして、国は、その権利を尊重し、実現のために全力で努力しなければならないと定めています。もし健康で文化的な最低限度の生活さえも営めないような課税が強制されるならば、国や地方自治体による個人の生存権、財産権の侵害と言えるでしょう。

憲法を土台にした課税のあり方を考えると、応能負担原則(=負担能力に応じて税負担をする考え方)が大切な考え方です。

次回は、応能負担原則の内容について具体的に考えていきましょう。

(赤ラインは編集部)

## 《アムネスティ》下関通信 (No. 11)



「金鷦輝く日本の栄ある光身に受けて、今こそ祝えこの朝、紀元は二千六百年」。子どもの頃ゴムとびをしながらみんなで声をはり上げてうたった歌です。時はすでに戦後でしたが大人に歌を止められた記憶は全くありません。今調べると金鷦とは初代神武天皇(BC660・縄文時代)東征時の弓の先に止った金色のトビのこと。科学的根拠があるはずもなく、しかし明治政府は1872年(M5)、この神話を国の初め「紀元節」と定め、2月11日を国民の祝日に制定しました。

誰でも自分の誕生日は大切ですが、「紀元節」は神道の精神的支柱となり、不幸にも国威高揚のため、日清、日露、日中、太平洋戦争へと日本を見事に軍国主義国家へ変身させました。真珠湾攻撃に始まる



第二次世界大戦の世界の戦死者総数は、今でも把握困難のことです(一般にアジアでは二千万)。

戦後は「信教の自由」、「政教分離」の新憲法の下を歩きましたが、1967年、国会は強行採決によってかっての「紀元節」2月11日を「建国記念の日」の祝日と言い変えて復活させました。今日ではこの日がはらむ数々の問題性を明らかにするため全国的に各地の市民が「2・11集会」を開いています。(私は今年小倉集会に参加、99名)

「政府と意見が異なる人」が罪に問われないよう救済する、世界規模の市民運動体こそ国際人権NGOアムネスティです(150ヶ国300万会員)。何といっても未曾有の犠牲者を出す戦争回避のための「声上げ」だけは続けること。この「21世紀の文化的聞い」をさわやかに生き抜く世界市民の一人でありたいと思います。(2015.2.26 アムネ下関、山県)



## ツイッター

### 議会基本条例の制定を

福岡市在住の西山さんから漫画冊子が送られてきました。副題には「福岡市議会をガラス張りにするために」とあります。表紙をめくると「議員は、わたしたちが選挙でえらんだ代表者であり、…市民にたいする説明責任があります。それなのに、議員の議会活動が市民にはよく見えません。ついたてで隠しているからです。実際、福岡市議会の公開度は全国最低です。」と書かれています。議会をガラス張りにしようという運動が西山さんの漫画を通してそれこそよく見えます。この冊子の価格は300円。問い合わせは編集部までどうぞ。

### 歩こう会、は4月5日! (山田)

「障がい者と一緒に畠中水池を歩こう」1年に1度のことですが、楽しみに待っている人もいます。畠中水池を歩きませんか。お弁当持参でどうぞ。

白木橋駐車場 11時。  
ピンゴゲーム景品を集めています。



ねらいを定めて…ピンゴ!

### 分かち合いのひととき



2月22日 18名参加

次回2015年3月22日ミサ後。  
どなたでもご参加ください。

『暑い日がありました。…。とつぜん、いなずまのような光が目の前にきらめき、さあ大へん、と思うまもなく家の下じきになってしまいました。…。私たちは、母が死んだものと思い、泣きながら、天主のおんあわれみを一心に祈りました。母は命を助かりました。—深堀恵子（当時9歳）—』

「原子雲の下に生きて」長崎の子供らの手記  
永井隆編

戦後70年を迎えます。  
今回、高野恵子さん（黒崎教会）の体験を、ご自身が書かれた当時の手記や長崎のテレビ局制作DVD

### ついに本土並みになったか(沖縄 中)

先月号で「春よ来い来い、早く来い」と通信しましたが、今回は残念なニュースです。

今月21日に、浦添市の路上でバイクに乗った60代の男性が突然20代の男の人に首を刺され死亡しました。沖縄ではあまりこのようなニュースはないのです。

後日、タクシーに乗って帰宅途中、運転手さんが「ここがその現場です。…ついに沖縄も本土並みになってしまったか」とボツリ。がっかりしていました。

私的には、この狭い沖縄に米軍基地が集中しているので、まずはせめて“本土並みに”爆音のほとんど聞こえないくらいになれば、ちょっと嬉しいのですけどね。

### スマホ?これでいいの(小学生の母親)

「先生、きょう風邪ひきました。学校休みます。」

これは、生徒のスマホから担任の先生の携帯に入れたメッセージです。えっ！電話で伝えないのかしら？10数年前はほとんどの人が携帯を持っていませんでした。今携帯からスマホへと代わっています。確かに便利ですが、このままじゃ人との会話・対話がなくなりそうで心配です。便利さと豊かさは違いますよね。



### 恵楓園で学びませんか (瀬下)

熊本県合志市にある国立ハンセン病療養所菊池恵楓園訪問します。(今年で連続14年目)

・とき…2015年4月29日(水、昭和の日)

発 AM8:00→10:30~15:30→帰 PM5:45

・人数…24名位 マイクロバスで行きます。

・費用…お一人3,000円(弁当は別途)

・申込は FAX 093-622-1290

感動の1日となるでしょう。ハンセン病問題とは、差別とは、人権とは、いろいろ学べます。

を交えて話していただき、分かち合いました。

「高野さんの苦難の人生を通して、その生き様に証された素晴らしい信仰に胸打たれました。教えられました。」「平和のありがたさを実感しました。」「真実を知り、次の世代に伝える大切さを強く思いました。」など分かち合われました。

# 東アジアの平和と福音的展望

韓国国民1%の済州島民と東アジアの平和実現を夢見ながら



カトリック韓国済州教区長

## カン・ウイル司教

※文責／編集部

(5)

数日前、9・11の記念日があり、テレビでそのニュースをみましたけれども、本当に飛行機が貿易センターにぶつかる瞬間は目も当てられない悲劇の瞬間です。数年前、ニューヨークの会議へ行つた時、いわゆるグラウンドゼロを訪問しました。地下に記念館みたいなを作つており、そこの責任者の方が9・11の時の話をいろいろ聞かせてくれました。その話の中には、その事故が起つた時に消防隊員や警察官が犠牲的に身を投げ出し、現場から人々を救い出していたかを語ってくれました。心を打つ話がいっぱいありました。でもそのとき私は、一緒にいたそこの小教区の主任神父さんに尋ねました。「いろいろ美しい話を聞かせてくれり難いのですけれども、でもこの場所で9・11が何故起こったのか、そしてその犯人たちはどういう理由で何故そんな悲しい非人間的な事故まで起こして世界の注目を集めたいと思つたのか、その本当の原因を調査したり、研究するといった働きはされていませんか。」と聞いたのです。けれどもその神父さんは、まさにそのことを私たちは考えるべきなのですけれども、ニューヨークではなかなかそういう雰囲気ではありません、そういうケツーションを口に出すことさえもなかなか難しいのです、と告白しておられました。そこでまた国家とは何かということを考えさせられました。

日本も幕府時代を過ぎて明治維新以来、国家という概念がでてきたと言われています。それ以前は、国といえば自分のふるさと

の藩を指していました。國家、国民という言葉が重みを持ちはじめたのは、諸外国と対抗して藩体制を崩して、天皇中心の国家体制を固めていくためにあつたのではないかと言われています。そしてロシアと中国との戦争を行ながら、日本はもつと国家という概念をゆるぎないものとして固めていったのではないかと思います。しかしこの国家という新しいイデオロギーが日本の国内外に、多くの人に大変な試練と苦しみを与えることになつたのではないかと考えることもできると思います。

## 「チエジュ島の今、海軍基地建設」

今度は、私の住んでいるチエジュ・ド(済州島)の歴史の中から国家とは何ものかということを考えてみたいと思います。

チエジュ・ドの南端にはカンジョン村という小さな漁村がありますが、その村に8年前から韓国海軍が巨大な軍港を建設しています。8年もかかって、まだ完成していないのは、村人たちと市民団体、そして私たちカトリック教会の積極的な反対の意思と、キャンペーントを続けてきたからであります。

私は最初、国家レベルで推進する国防事業に、教会が公に反対の意思表示をするのは妥当なのか非常に躊躇して悩みました。しかし多くのチエジュの島民が心中では賛成していないにもかかわらず、政府の国策事業に正面から反対するのは気が引けて皆あきらめかけていました。そういう様子を見て、私は一種の哀しみ、そして憤りを感じました。なぜならチエジュ島の人たちは、歴史の中で韓国本

## 編 集 後 記

身内から思いもよらない批判が。安倍政権のことです。2月12日、自衛隊の活動等を伝える専門紙「朝雲寸言」が「自衛隊が人質救出できるようにすべきとの国会質問は現実味に欠けている」と指摘したのです。その後、この「朝雲寸言」は削除されたそうですが、もう遅い。知れ渡ってしまいました。

2月19日の予算委員会で、前農相の献金問題を追求した民主党議員に、安倍総理は「日教組はどうする」と何度もヤジを飛ばし、委員長から諫められる場面も。自衛隊海外派兵問題で足元から批判され、自身が任命した大臣の献金問題にカツとなる首相…あなたが国会の品位を貶めています。(瀬下)